

# 住みたいマチ

総合戦略は、人口減少を見据えた移住定住の促進や人口移動の解消が一つの力ギを握ります。そこで、実際に移住した人から見た「御船の良さ」にスポットをあて、学識者の視点から町がこれから取り組むべき方向性を探ります。

## 「聴く」 移住者



**移住元** 福岡県福岡市  
**移住先** 田代地区水源  
**移住13年目、吉無田高層パン工房「5656かSun」を営む**  
酒向 さん(41)・文子 さん(39)  
咲吾 くん(11)・巧 くん(8)・輪 くん(5)

## 地域の人がとても温かい 子育てを地域全体で応援

**移** 住のきっかけは、妻の実家が水越地区で、両親のこゝとやパン屋を営める物件を探していたときに家を見つけた。暮らして感じたことは、ちょうどいい田舎で、地域の人がとても温かいことです。一緒にご飯を食べたり、探られた野菜をいただいたり、私たち家族への思いやりが伝わってきます。子どもたちとの散歩が日課なんです。近所の方との会話も自然と弾みます。誰かに会いにくいような気分で、友達の家遊びにいくような感覚なんです。子どもの通う小学校の発表会には、近所の方も観にいらっしゃるんです。人と人の距離が近くて、地域で子育てを応援してもらっていると感じます。草刈りなど地域行事には、家族全員で参加しています。高齢の方が多い地域ですが、できる人ができる範囲で自分の役割で頑張っていけたらと思います。



**移住元** 宮崎県宮崎市  
**移住先** 田代地区浅の藪  
**移住4年目、紅茶の店「ちやい」を営む**  
満倉 忠勝 さん(71)・美佐子 さん(69)

## 吉無田の夕日に妻と感動 暮らすと地域資源の宝庫

**吉** 無田から望む夕日に妻と感動して、「ここで暮らそう」と決めました。病気を機に会社を辞めて、療養できる自然豊かな場所を探していたとき、縁あってこの地に越してきました。家は、地元の人が設計して、地元の木材を使って建てたんです。有明海が一望できる場所にね。住んでみると、人とのふれあいの良さも実感しましたし、地の利もよくて、街中や空港まで約30分で行けます。今は、家族が営む店を手伝う傍らで、野菜づくりもはじめました。だけど、イノシシに食べられることの方が多いですけどね。水、空気、土、人の心の4つが揃っている場所は、そう他にはありませんよ。



## 地 方創生は、住んでい る市町村で「自分た ちの町をどうしようか」と いう意識をもって、20年、 30年先を見据えたアイデア を出すものです。イノベー ション的(新しいこと)の導 入)な発想がない市町村は 続きませんし、将来の危機 意識をいかに持つかとい うこと。首長や行政が今行 動することが大事だと、町 民に意識を持たせることが 重要だといえます。

御船町総合戦略の基本目標1〜4には、「御船の素材を活かし」や「御船の特

## 意識改革でイノベーション 首長の思いと情報の共有化

## 「聞く」 学識者



熊本県立大学  
井田 貴志 教授

◎Profile  
1963年生まれ。九州大学経済学部助手やユタ州立大学経済学科客員研究員などを歴任。現在、熊本県立大学総合管理学部総合管理学科に所属。御船町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議会長をはじめ、山鹿市指定管理候補者選定委員会会長、天草市都市計画マスタープラン策定審議会会長など務める。熊本市在住。52歳

## 「効く」 行政

## 全庁的な体制づくりと連携 御船暮らしの良さの発信へ

御船町はいろんな条件を見ても恵まれていません。一番のポイントは町民が計画をどう思うか。そのためにも、首長の思いなり、情報を、職員や町民に対して伝えることが大切です。役場で、いろんな分析もしてあります。強みを生かして、国の制度が変わったとき、手をあげられるような準備も必要です。あれもこれもはできません。御船町は「これだ」というものをつくるのが肝要だと思います。

**総** 合戦略は、町民アンケート、推進会議(民間や商工、農協、学校、金融機関など)、言論界、議会の意見を基に策定しました。最大目標は、人口減少を阻止するため、何に特化していくのか。その緊急性と重要性を絞りこんだものが、6つの重点プロジェクト(PJ)になります。これらを推進していくために、PJごとにチームを編成して、全庁的に取り組んでいく体制づくりに着手します。PJの力ギは、現場内の横の連携が重要です。PJに関わるすべての課がうまく機能しないと目



企画財政課  
藤本 龍巳 課長

◎問い合わせ 地方創生に関すること 役場企画財政課まちづくり創造係 ☎096-282-1263